

取扱業者・連絡先

製造・発売元 風の郷工房株式会社

〒992-0334  
山形県東置賜郡高畠町大字一本柳 2535-1  
TEL 0238-52-1446

オーダー対応の起立保持具

# プロン★スター 取扱説明書

## 製品の特徴

- 体幹前傾位での立位姿勢をしっかりサポート
- 支持部はすべてオーダー対応
- さまざまなユーザーさんに対応する豊富な調節機構  
(股関節、膝関節に拘縮のある方にも対応します)
- 脇の下の高さで20cm以上の成長対応
- ご家庭でも簡単に操作できる各部の調節機構
- 横揺れしない頑丈なフレーム構造
- 必要に応じて持ち運ぶことができる折りたたみ機構
- 幼児から大人まで対応する豊富なフレームサイズ

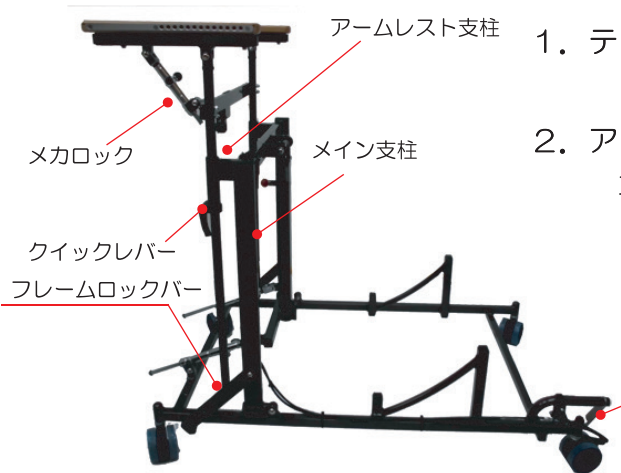


## 安全にお使いいただくための注意事項

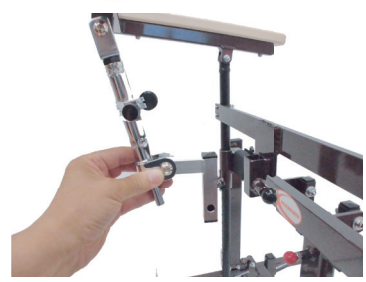
- 初めてご利用になる際は、ドクターやセラピストの方の指示のもとに、ご利用者の身体寸法や身体状況にフィットしているかどうかを確認してからご利用ください。
- ご利用者の成長が著しい場合や、ご利用者の身体各部に変形や拘縮の進行が見られる場合身体に無理がかからないように、ドクターやセラピストの方の指示のもとに調整してからご利用下さい。
- ご利用者の体調が悪い時にはご利用にならないようにして下さい。
- ご利用になる時間は、ご利用者に応じて身体に負担がかからないように注意してください。
- 「pron☆スター」の乗せ降ろしの際は、必ずキャスターをロックして動かないように注意して下さい。
- 「pron☆スター」をご利用になる時の前傾の角度は、ドクターやセラピストの方の指示のもとに調整してからご利用下さい。
- ご利用の際は必ずご本人を乗せたままで一人で放置しないように、保護者の方や介助の方の目が行き届く環境でご利用下さい。
- ご利用中に周囲にご兄弟や他の子どもさんがいる場合、足台の上に一緒に乗ったりすることがないように注意して下さい。角度調整部品のメカロックの負荷を超える重力がかかると足台が急激に動いて事故につながる危険性があります。



# 各部の取扱方法・構造フレームの折りたたみ



1. テーブル下のオートラッチを解除してテーブルをはずします。
2. アームレスト支柱のクイックレバーを緩めて下まで下げ再びロックします。



3. テーブル下のメカロックを留めているプッシュピンを引いてメカロックを上にはずし、アームレストをたたみます。



4. メイン支柱を留めている左右のフレームロックバーのノブボルトを緩めてロックバーを上にはずします。



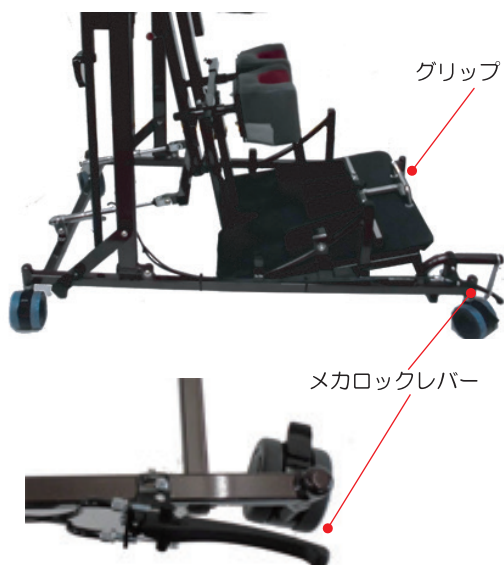
5. メカロックのレバーを握って構造フレームの支柱を後方に倒します。  
(※ その際、支柱とベースパイプの間に  
手を挟まないようご注意ください。)



この間に手を挟まないようご注意ください

## 各部の取扱方法・メインフレーム

### ☆メインフレームの角度調節

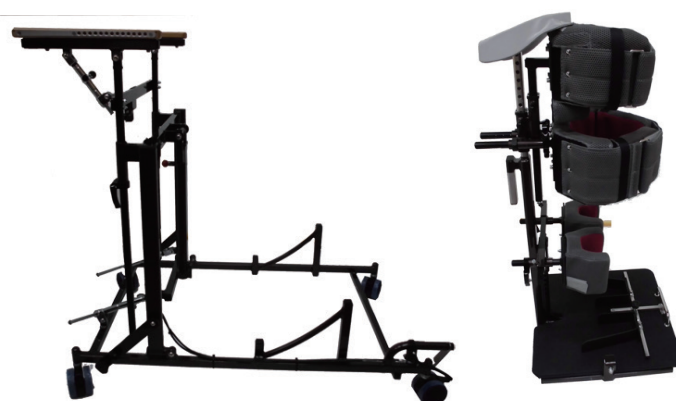
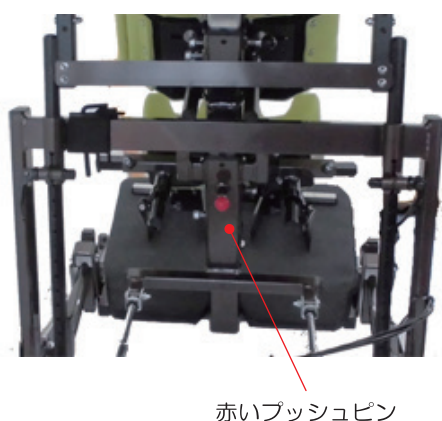


1. 足台のグリップをつかんだ状態で構造フレームの左側手前にあるメカロックのレバーを握って調節してください。
2. メカロックのレバーを握るとロックが解除されてご利用者の体重がかかりますのでグリップをしっかり握ってゆっくり操作して下さい。

### ☆メインフレームの脱着



1. テーブル下のオートラッチを解除してテーブルをはずします。
2. メカロックのレバーとグリップを握ってメインフレームの角度を下げ直立した状態にします。
3. 構造フレームの正面にある赤いプッシュピンを引っ張って横向きにシロックを解除します。
4. メインフレーム全体を、骨盤支持部の下を持ってまっすぐ上に引き抜きます。





# 製品構成と各部名称



構造フレーム

メインフレーム



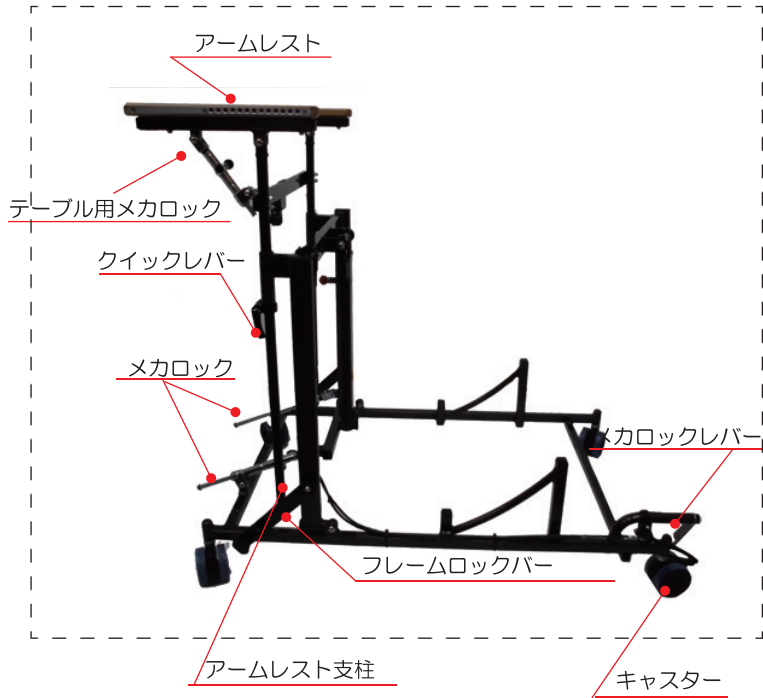
## サイズ表

	腋下高さ	大転子高さ	膝頭高さ	テーブル 大きさ	前傾の角度	身長目安
S サイズ	52~80	32~48	20~28	60×50	0~30°	80~105
M サイズ	66~94	42~60	24~40	65×55	0~25°	95~125
L サイズ	80~114	52~72	30~48	70×60	0~20°	110~145
LL サイズ	92~134	62~84	33~56	70×60	0~20°	125~165

(※ 単位は cm です フレームサイズは大転子の高さを目安にお選びください)

# 製品構成と各部名称

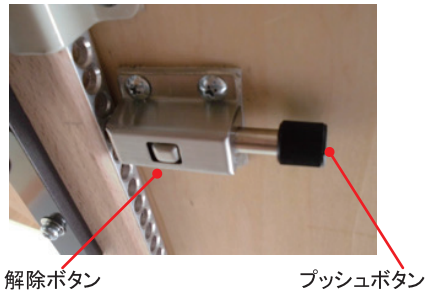
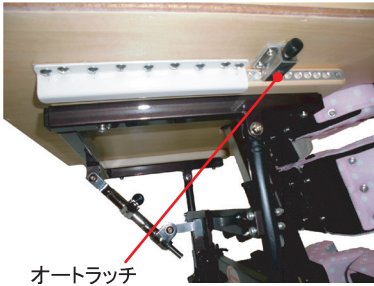
## 構造フレーム



## メインフレーム



## 各部の取扱方法・テーブル



### ☆テーブルの前後調節

1. テーブル下のオートラッチの下側にある左右両側の解除ボタンを押してロックを解除し、フリーにします。
2. メインフレームの角度をメカロックで調節したらテーブルをスライドして、体幹支持部にぶつかったところでオートラッチの横にある両側のプッシュボタンを押し込んでロックします。

その際、少し前後して、両側がうまくはまる位置でプッシュボタンを押しこんで下さい。

### ☆テーブルの角度調節

1. テーブル下両側のメカロックのつまみをつまんだ状態でテーブルを上下して角度を調節します。



### ☆テーブルの高さ調節

#### ● テーブルの高さを上げるとき

1. テーブル下のオートラッチのロックをはずしてテーブルの前後調節機能をフリーにします。
2. アームレスト支柱下部のM5キャップボルトを4ミリのレンチではずします。
3. アームレスト支柱をつないでいるフラットバーの中央部を片手で支えながら、テーブル支柱両側のクイックレバーのロックを片側ずつ解除します。
4. テーブルを上げて、目安の位置より少し低い所でクイックレバーを片側ずつ仮締めし、クイックレバー下側の一番近い穴にM5キャップボルトを再度ねじ込みます。
5. クイックレバーの仮締めを解除し、テーブルを再度上げてキャップボルトにぶつかって止まった位置でクイックレバーを最終的にロックします。

#### ● テーブルの高さを下げるとき

1. クイックレバーを解除してテーブルを下げ、目安の位置で再びロックします。
2. M5キャップボルトをレンチではずし、クイックレバー下側の一番近い穴にを再度ねじ込みます。





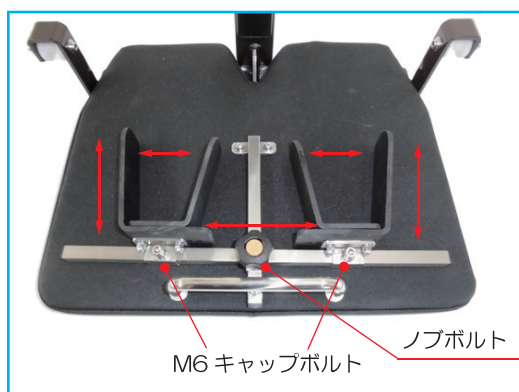
## 各部の取扱方法・足部支持部

### ☆足台の補高



1. 各フレームサイズの最小の高さに設定する場合には足台の補高を行なう必要があります。
2. 20 ミリ厚のスペーサーを足台と足台フレームの間に取付けてご使用ください。
3. 成長に伴ってスペーサー必要がなくなった場合は取り外してご使用ください。

### ☆かかとうけの足間幅調節

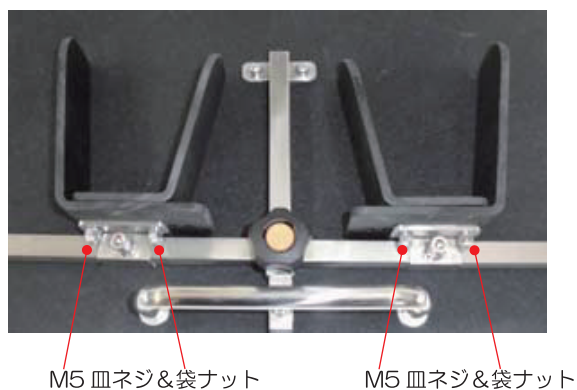


1. かかと受け裏側の M6 キャップボルトを5ミリのレンチで緩めて左右均等に移動して調節して下さい。
2. 移動した後は再びレンチを使ってしっかり締めて下さい。

### ☆かかとうけの前後調節

1. かかと受け中央部のノブボルトを手で緩めると前後に移動することができます。
2. 移動した後は再びノブボルトをしっかり締めて下さい。

### ☆かかとうけの「かかと幅」調節

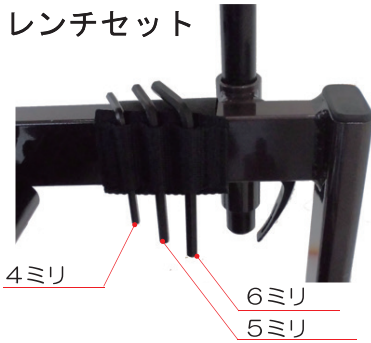


1. かかと受け裏の M5 皿ネジと袋ナット（片側2本）をドライバーとスパナを使用してはずすと左右それぞれのかかと受けの幅を調節することができます。
2. この際に使う工具は付属しておりませんので、調整が必要な場合は納品していただいた業者さんにお問い合わせ下さい。

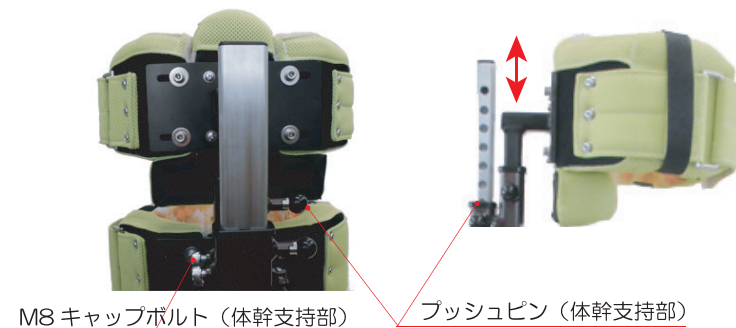
# 各部の取扱方法・体幹支持部

## ☆体幹支持部の高さ調節

レンチセット

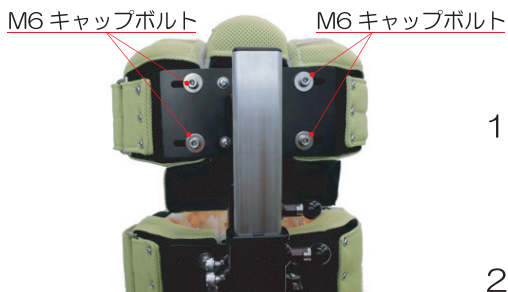


1. 各部の高さ調節部分を調節するには、まず各部をロックしているM8キャップボルトを付属の6ミリのレンチで緩めてロックを解除してください。



2. ロックを解除したら反対側にあるプッシュピンを引いて横に回し固定して下さい。
3. 体幹支持部を動かして、ご使用者の脇の下の高さに合わせて下さい。(その際、指一本分位の余裕を見てください。高過ぎると脇の下を圧迫して危険なことがあります)
4. 高さを調整した後は、ご使用になる前に再びM8キャップボルトを締めて下さい。

## ☆体幹支持部の幅調節



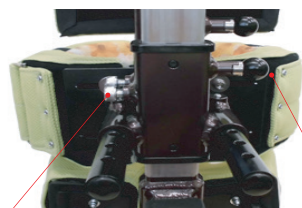
1. 体幹支持部裏側のM6キャップボルト(片側上下2箇所)を5ミリのレンチで緩めて左右均等に移動して調節して下さい。
2. 移動した後は再びレンチを使ってしっかり締めて下さい。



## 各部の取扱方法・骨盤支持部

### ☆骨盤支持部の高さ調節

1. 骨盤支持部をロックしているM8キャップボルトを6ミリのレンチで緩めてロックを解除してください。



M8 キャップボルト (骨盤支持部)



プッシュピン (骨盤支持部)

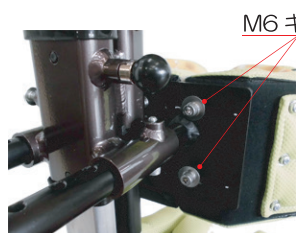
2. ロックを解除したら反対側にあるプッシュピンを引いて横に回し固定して下さい。

3. 骨盤支持部を動かして、中央部をご使用者の大転子の高さに合わせて下さい。

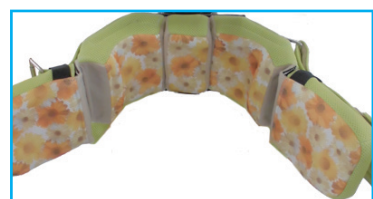
4. 高さを調整した後は、ご使用になる前に再びM8キャップボルトを締めて下さい。

5. 骨盤支持部を一番高い穴に移動しても大転子の高さに届かなくなった場合前後調節部分のパイプを一度引き抜いて、上下反対にして再び差し込むと高さを4cm上げることができます。

### ☆骨盤支持部の幅調節



M6 キャップボルト



1. 骨盤支持部裏側のM6キャップボルト(片側上下2箇所)を5ミリのレンチで緩めて左右均等に移動して調節して下さい。
2. 移動した後は再びレンチを使ってしっかり締めて下さい。

### ☆骨盤支持部の前後調節

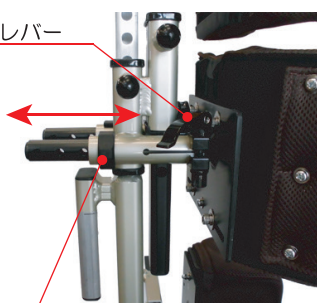
1. 股関節に拘縮があって、骨盤支持部に隙間ができてしまう場合前後調節機能を使って調節することができます。

2. 骨盤支持部裏側のパイプ差し込み部分を固定している左右両側の「パイプ留め金具」を手で横方向に引き抜きます。

3. 両側のクイックレバーを開いてロックを解除します。

4. 2cm間隔でパイプの移動ができますので、適切な穴位置を選んで再び両側のパイプ止め金具を差し込んでクイックレバーを締めて下さい。

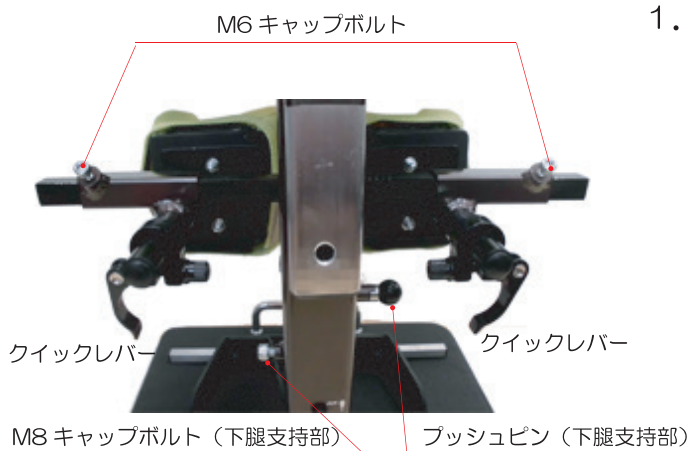
クイックレバー



パイプ留め金具

## 各部の取扱方法・下腿支持部

### ☆膝パッドの高さ調節



1. 下腿支持部をロックしているM8キャップボルトを6ミリのレンチで緩めてロックを解除してください。
2. ロックを解除したら4. 反対側にあるプッシュピンを引いて横に回し固定して下さい。
3. 下腿支持部を動かして、膝パッドの中央部をご使用者の膝の高さに合わせて下さい。
4. 高さを調整した後は、ご使用になる前に再びM8キャップボルトを締めて下さい。

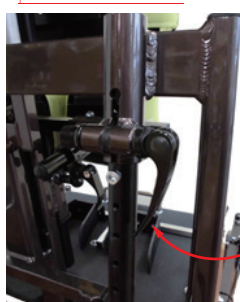
### ☆膝パッドの膝間幅調節

1. 膝パッド裏側のM6キャップボルトを5ミリのレンチで緩めると左右に移動することができます。
2. 膝パッドを移動した後はご使用になる前に再びM6キャップボルトを締めて下さい。

### ☆膝パッドの前後調節と角度調節



クイックレバー



1. 膝パッド裏側のクイックレバーを手で横方向に開くとロックが解除されて、前後調整と角度調整ができます。
2. 調整が終わった後は再びクイックレバーをしっかりと締めて下さい。
3. 膝パッドの前後位置や角度の調整は必ずドクターやセラピストの方々の指示のもとで行って下さい。